

大学教育再生加速プログラム（AP） 事後評価調書

【公表】

1. 整理番号	35
2. 大学等名	宮崎国際大学
3. テーマ	I・II複合型
4. 取組学部等名	国際教養学部 教育学部
5. 事業期間	平成26年度～令和元年度（6年間）

【公表】

8. 事業の概要（※400字以内）	(371文字)
<p>宮崎国際大学では、開学時（26年前）から英語でリベラル・アーツ教育を行っている。授業は20人以下の少人数クラスで、アクティブ・ラーニング（以下、AL）を行っている。</p> <p>しかし、これまでの取り組みでは、効果的なALに必要なクリティカル・シンキング（以下CT）の技能をはじめ、学修成果を可視化した客観的な測定・評価が不十分であり、ALをさらに発展させるための物的な環境も整っていない。本事業では、以下の4つの取り組みを包括した事業を展開し、本学教育の質向上と学修成果の可視化を目指した。</p> <p>① 従来のALをさらに発展させ、ベスト・プラクティスの内容を明確化し、ルーブリック・ベース・シラバスによるPDCAサイクルを確立 ② CTを客観的に測定・評価するツールの開発 ③ ②の開発に伴う英語スキル向上を目的とするALプログラムの構築 ④ e-ポートフォリオを用いた学修成果の可視化</p>	